

若草進路便り

発行／2021年12月24日 発行者／高知県立高知若草特別支援学校進路部

2 学期現場実習

1 学期にはほとんど実施できなかった現場実習ですが、2 学期はコロナの感染状況を鑑みながら、予定通りすべての実習を終えることができました。ただ、3 年生限定（6 名・7 事業所）の実施となってしまう、2 年生は就労アセスメント該当の2 名が実習を行うのみとなりました。事業所の方々のご配慮もあり、実習をして良かった、満足した、卒業に向けて安心できたという声も上がっています。現在の2 年生、1 年生については、保護者の希望に応じる形で事業所見学を行いました。コロナの対応ステージにもよりますが、来年度の1 学期から集中的に現場実習を行う予定ですので、保護者の皆様には、送迎等ご協力のほどよろしくお願いいたします。

夏季休業中アフターケア

卒業後3 年間は、元担任を中心として関わりのあった教員が、卒業生の利用する事業所を訪問して近況を伺っています。今年度は、卒業生が使用するパソコンの周辺機器の調整を行った

り、家庭と学校をZoomで繋いで様子をお伺いしました。8月18日から、コロナの対応ステージが上がったため、その後は中止にせざるをえませんでした。今年度の卒業生は、卒業式後、夏季休業中に限らず、感染状況を見ながら随時アフターケアを実施します。

OKIワークウェル遠隔実習

障害者の在宅雇用を積極的に進めているOKIワークウェルの遠隔職場実習に、中学部A組の生徒2 名が取り組みました。学校のシンボルマークを作成するという実習でしたが、ICT機器を活用して就労することを知ることができ、生徒の進路選択の幅が広がる有意義な実習となりました。



移行支援会議を開催します

卒業を控えた高等部3 年生は、1 月に移行支援会議を予定しています。移行支援会議とは、生徒や保護者の方々が、将来の生活についての希望や必要と思われる支援の内容を、相談支援専門員、事業所の担当者、市町村の担当者、担任、進路担当など関係機関で話し合い、卒業後の支援のネットワークを作っていく会議です。卒業後、地域で豊かに暮らしていくための第一歩となる会ですので、進路部としても実りある会となるよう進めていきます。